



プレスリリース

TORU ISHII: METROPOLITAN MOMENT

2018年4月7日(土)～5月5日(土)

開廊日：火～土 10:00am～6:00pm

レセプション：4月7日(土) 4:00pm～6:00pm

現代美術艸居では『TORU ISHII: METROPOLITAN MOMENT』を開催致します。京都での初個展となる本展では、現代都市社会の事象を主題に据えた作品を展示致します。

石井は、友禅染という伝統的な染色技術の過程を記憶装置と位置づけ、変容し続ける社会を捉え、色鮮やかな色彩を用いることで社会事象を作品に昇華させます。そして作品を鑑賞するという行為を通じて、鑑賞者は自らがおかれた社会を取り巻く出来事に思いを巡らせることができます。本展開催地、京都は友禅染発祥の地でもあります。元禄時代(1688-1703)に宮崎友禅斎が金糸や刺繍等の装飾を施すことなく、鮮やかな色彩と斬新な意匠を用いて四季折々の風光明媚な事象を描き、人々を魅了しました。一方、石井は、文化庁の新進芸術家海外研修員として2年間のロンドン研修で培った経験、新たなマテリアルとの出会い、西洋と東洋の絵画及び染色表現の探究と発見を礎に、新たな染色絵画を生み出します。現代における伝統芸術の在り方を提起した展覧会です。

本展は、糸目友禅染技術と西洋絵画ステイニング技術、アナログとデジタルの表現を組み合わせて現代都市風景を捉えた以下二つのシリーズに分類される作品群で構成しています。まず、「都市夜景」シリーズは、現代都市の象徴である都市のネオン風景が主題です。夜間の都市に浮遊する広告のネオンライトと電気エネルギーの図像を、染めの行為、すなわち「染料の蒸し定着＝保存」として捉え直し、絵画形式で保存することで、伝統芸術の可能性と西洋絵画ステイニング絵画の可能性を問います。次に、『都市漂着物』『ダンボール』『滝』シリーズでは、日々の都市生活に瞬間的に出現する路上のゴミが主題です。都市観察中に自身が偶然に発見して撮影した路上のゴミ写真の図像を、『都市夜景』シリーズ同様、絵画形式で保存することで、伝統芸術の可能性と西洋絵画ステイニング絵画の可能性を問います。

友禅染発祥からおよそ300年の時を経て、現在の浮き世をとらえた石井亨の「平成浮世絵」をご覧頂ける貴重な機会となります。是非ご高覧頂けますよう御案内申し上げます。



石井 亨

1981年静岡県生まれ。2014年、東京藝術大学大学院美術研究科美術専攻博士後期課程修了（2011年度 三菱商事アート・ゲート・プログラム 奨学生）、2015年より文化庁新進芸術家海外研修員としてロンドンに滞在。

2011年「ProjectN46 石井亨」東京オペラシティアートギャラリー（東京）、2012年『Toru Ishii』イセ・カルチュラル・ファンデーション フロントスペースギャラリー（ニューヨーク）、2014年『KIZASHI』ポーラ・ミュージアム・アネックス（東京）、2016年『NEO NIPPONICA』ヴィクトリアアンドアルバート美術館（ロンドン）、2016年『IMAYŌ: JAPAN'S NEW TRADITIONISTS』ホノルル美術館（ハワイ）、2017年『IMAYŌ: Connecting Past and Present』松濤美術館（東京）、等国内外で多数発表。2007年『第8回スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル』審査員奨励賞受賞、2011年『イセ・カルチュラル・ファンデーション・学生美術展覧会』デイビッド・ソロ賞受賞、2013年『2013年度博士審査展』野村賞受賞、2017年『The Annex Collection Acquisition』入選等。

石井 亨展は4月7日（土）から 5月5日（土）まで。

現代美術 艸居 京都市東山区古門前通大和大路東入ル元町 381-2 にて展示。
開廊日：火～土 10:00am ～ 6:00pm

お問い合わせは藤田篤実 atsumi.fujita@gallery-sokyo.jp、プレスは大谷典子 otani@gallery-sokyo.jp 又は 075 746 4456 までお願いいたします。